

グループ発表 ～こうしたらどう？「市からのお知らせ」～

1グループ

○市広報へのお願い

- ・市民編集委員のページは遊びのページにした方がよい。市民から投稿を集めて編集するとか。
- ・内容がバラバラ。編集を考えたほうが良い。講演会の案内が2つあったが、まとめたほうがわかりやすい。防災の記事の横に男女共同参画の記事はいかがなものか。男女共同参画の記事と女性講演会をドッキングさせた方が良いのでは。
- ・子どものページ、健康のページ、イベント的なものなど、同じものを集める構成のほうが見やすい。
- ・一般的に、どんなに見やすくしても、興味の無い人は見ない。逆に言うと、興味のある人はどんなに見づらくても、がんばって見る。特に、商売に関係することとか、お金に関係することとか。基本はそういうことだろう。だが、見やすくするということで、ページの編集を考えてほしい。
- ・縦書きになったり横書きになったりしているが、考えてほしい。

2グループ

○広報は文字が小さい。3色以内にしたたり、横書きにしたたりした方が高齢者には読みやすい。

○タイムリーな情報は広報ではむつかしいので、そういう場合は回覧板を使ったらどうか。ただし、町内会に加入していない世帯があることは問題。また、奥さんしかチェックしないときは、家族のふれ合いで何とかしてもらうことが必要になってくるが。

○市のホームページは読みにくい、ややこしい、検索しづらい。

○今は、情報量が多すぎて限界。だから、こういうテーマが出てきたと思う。市広報やホームページも大切だが、これからは、「人間関係」が情報伝達の媒体となる（例えば、関係が良好な町内会であれば、情報が口コミのような形で隅々まで伝わっていく）とよいのでは。それがまちづくりにつながっていくのではないか。

3グループ

○市広報の緊急特集を、中央部分の1枚（簡単に抜き取れるページ）に掲載してはどうか。例えば、税金や年金の特集とか。簡単に抜き取れるので保存しやすい。

4グループ

○市広報を、最初から最後まで幅広くいろいろな層に読んでもらうことは困難。

○世代別に市広報を。例えば、毎月1日は子ども広報、10日は主婦広報、月末はシルバー広報とか。

○スマホ世代向けに、一宮市のアプリをダウンロードすれば、例えば温水プールのチケットをプレゼントすると楽しいのでは。

○高齢者の方にタブレットを配付して、情報を提供。

○ほしい人が、ほしい情報をいつでも取りにいけるような体制が大事。情報をほしがっている世代に、情報を届けるツールを、柔軟な頭で行政が考えていくことが大切。

裏面へ

5グループ

- 広報は市からの一方通行。市民も参加すべき。
- 全戸に ICC を引いてはどうか。単純計算で、1,000 円×12 ヶ月×140,000 世帯=16.8 億円。市の予算 1,000 億円の 1.68%にあたる。例えば、トヨタ自動車の広告宣伝費は全体の何%ぐらいだろうか？ それと比べて 1.68%は高いのか低いのか。考えてみてはどうか。
- デジタル放送の d チャンネルを使い、双方向のやりとりが成立するのでは？

(グループ番号は下記参照)

